

## 第23回日本水環境学会シンポジウム参加申し込み案内

第23回日本水環境学会シンポジウムは、COVID-19の影響により、宮崎大学での現地開催を中止し、オンライン開催となり、下記の要領で開催いたします。非会員の方も参加できますので、大勢の方のご参加を期待しております。

### 1. 概要

主催：公益社団法人 日本水環境学会

期日：2020年9月9日（水）～10日（木）

開催形態：オンライン会議システムを使用したLive配信方式。

講演集形式：ダウンロード版として提供します。また、冊子体は開催後に別途お送りします。

### 2. 内容

日本水環境学会 50周年記念講演会～より良い水環境管理を目指した地方と国の協働～

（本部企画／共催：全国環境研協議会）

9月9日（水）9：30～12：30

若手研究紹介（オルガノ）セッション（発表審査）

9月9日（水）13：20～17：10

（受賞者発表）

9月10日（木）12：30～13：30

年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演

9月9日（水）17：20～17：50

研究委員会、本部企画セッション

9月9日（水）午前（9：00～12：30）

汽水域の生物生産～物理・化学的基盤と生態系

（汽水域研究委員会）

9月9日（水）午後（13：30～17：00）

環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術

（環境省：本部企画）

「限界突破」する膜

（膜を利用した水処理技術研究委員会）

九州沖縄の水環境

（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）

地域からの発信～水環境研究の成果を行政に活かすには？～

（地域水環境行政研究委員会／共催：全国環境研協議会）

9月10日（木）午前（9：00～12：30）

地域持続に貢献するバイオプロセスとその展開

（嫌気性微生物処理研究委員会／農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

エアロゾル中の病原微生物に関する研究動向

（水中の健康関連微生物研究委員会）

湿地・沿岸域研究の最前線と亜熱帯・熱帯の水環境

（湿地・沿岸域研究委員会）

地表水対象の浄水処理への紫外線適用

（紫外線を利用した水処理技術研究委員会）

産業排水処理における新たな課題と技術的進展

（産業排水の処理・回収技術研究委員会）

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術

（電気化学的技術研究委員会）

気候変動による水道水源への影響と対応方策

（将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会）

マイクロプラスチック研究、分析手法の最前線

（マイクロプラスチック研究委員会／身近な生活環境研究委員会／共催：日本環境化学会）

9月10日（木）午後（13：30～17：00）

MS技術を駆使した環境微量化学物質の把握

（MS技術研究委員会）

バイオとエコを活用した環境再生保全技法の最前線と戦略的展開

（生物膜法研究委員会）

身近な生活環境の変化とその課題

（身近な生活環境研究委員会）

バイオアッセイの未来

（バイオアッセイによる安全性評価研究委員会）

土壌地下水汚染問題の解決に向けた研究動向と今後の展開

（土壌地下水汚染研究委員会）

気候変動が流域の水・物質動態に与える影響とその対策

（流域物質動態とノンポイントソース研究委員会）

懇親会 開催しません

### 3. シンポジウムに参加される方へ

- (1) シンポジウム参加資格者：事前に参加申し込みをおこなってご入金を確認できた方のみが参加できます。  
研究発表を申し込まれた方は、必ず参加申し込みが必要です。
- (2) シンポジウム参加費（予約申込のみ）

	正会員 (不課税)	学生会員 (不課税)	非会員 (課税, 税込み)	学生非会員 (課税, 税込み)
予約申込*	5,000 円	3,000 円	18,000 円	8,000 円

(3) 申込方法と期限

ホームページ <http://www.jswe.or.jp/event/symposium/> からお申し込みください。申込期限は9月3日（木）です。  
また、参加費は9月4日（金）までに指定口座に振り込んでください。ご入金を確認できないと参加できません。  
WEBからの申し込みができない方は、下記の連絡・問い合わせ先にご連絡ください。

(4) 参加証／講演集引換券の送付

ご入金を確認後メールにてお知らせします。

また、そのメールにオンライン開催およびダウンロード版講演集に関する情報へのアクセス方法が記載されています。

### 4. 連絡・問合せ先

公益社団法人 日本水環境学会 シンポジウム係  
東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201 号  
Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352  
E-mail：nenkai@jswe.or.jp

キャンセルポリシーについては [https://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE\\_cancellation\\_policy.pdf](https://www.jswe.or.jp/pdf/JSWE_cancellation_policy.pdf) をご覧ください。

## 第23回日本水環境学会シンポジウム（オンライン）

日	時	会場名称	セッションタイトル	研究委員会等	
9日(水)	9:30～12:30	A	日本水環境学会50周年記念講演会 ～より良い水環境管理を目指した地方と国の協働～	本部企画／共催：全国環境研協議会	
		B	汽水域の生物生産～物理・化学的基盤と生態系	汽水域研究委員会	
	13:20～17:10	OR	若手研究紹介（オルガノ）セッション	（発表審査）	
		C	環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術	環境省：本部企画	
	13:30～17:00	D	「限界突破」する膜	膜を利用した水処理技術研究委員会	
		E	九州沖縄の水環境	熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会	
		F	地域からの発信～水環境研究の成果を行政に活かすには？～	地域水環境行政研究委員会／共催：全国環境研協議会	
		ME	年間優秀論文賞（メタウォーター賞）受賞者講演		
	10日(木)	9:00～12:30	G	地域持続に貢献するバイオプロセスとその展開	嫌気性微生物処理研究委員会 ／農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会
			H	エアロゾル中の病原微生物に関する研究動向	水中の健康関連微生物研究委員会
9:00～12:30		I	湿地・沿岸域研究の最前線と亜熱帯・熱帯の水環境	湿地・沿岸域研究委員会	
		J	地表水対象の浄水処理への紫外線適用	紫外線を利用した水処理技術研究委員会	
12:30～13:30		K	産業排水処理における新たな課題と技術的進展	産業排水の処理・回収技術研究委員会	
		L	環境エンジニアリングにおける電気化学的技術	電気化学的技術研究委員会	
13:30～17:00		N	気候変動による水道水源への影響と対応方策	将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会	
		P	マイクロプラスチック研究、分析手法の最前線	マイクロプラスチック研究委員会／身近な生活環境研究委員会 ／共催：日本環境化学会	
		AW	受賞者発表		
		Q	MS技術を駆使した環境微量化学物質の把握	MS技術研究委員会	
	R	バイオとエコを活用した環境再生保全技法の最前線と戦略的展開	生物膜法研究委員会		
	S	身近な生活環境の変化とその課題	身近な生活環境研究委員会		
13:30～17:00	T	バイオアッセイの未来	バイオアッセイによる安全性評価研究委員会		
	U	土壌地下水汚染問題の解決に向けた研究動向と今後の展開	土壌地下水汚染研究委員会		
	V		気候変動が流域の水・物質動態に与える影響とその対策	流域物質動態とノンポイントソース研究委員会	

## 発表プログラム

9月9日(水) 午前

A会場 9:30~12:30

学会50周年記念企画 特別講演会—より良い水環境管理を目指した地方と国の協働—

(本部企画/共催:全国環境研協議会)

(座長:見島伊織(埼玉県・環科国セ))

- 09:30~09:35 開会挨拶および趣旨説明.....°西嶋 渉(広島大・環安セ)  
09:35~10:10 閉鎖性海域における水環境管理の最新事情  
.....°行木美弥(環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室)  
10:10~10:45 気候変動の影響と適応に関する最近の動向.....°高橋一彰(環境省地球環境局総務課気候変動適応室)  
10:45~11:20 災害対応等に関する国と地方の協働を目指して.....°中島大介(国環研)  
11:20~11:55 化学物質分析, 環境モニタリングに関する国及び国内外の大学等研究機関との連携  
.....°岩淵勝己(岩手県・環保研セ)  
11:55~12:30 地環研・国環研の協働による海域・陸水域再生研究の推進.....°石井裕一(東京都・環科研)

B会場 9:00~12:00

汽水域の生物生産~物理・化学的基盤と生態系

(汽水域研究委員会)

(座長:清家 泰(島根大))

- 09:00~09:10 趣旨説明.....°山室真澄(東京大)  
09:10~09:35 2010年代の空中写真を用いた宍道湖における水草群落分布範囲の変遷  
.....°神門利之, 加藤季晋(島根県・保環研), 小室 隆(港空研),  
管原庄吾(島根大), 神谷 宏(島根県・保環研)  
09:35~10:00 2019年夏季の宍道湖における水草群落内のDO観測  
.....°小室 隆(港空研), 神門利之, 加藤季晋(島根県・保環研)  
10:00~10:25 宍道湖湖岸におけるメタン生成について  
.....°管原庄吾, 片桐知咲, 朴 柴暎, 江川美千子, 清家 泰(島根大)  
10:25~10:50 室見川汽水域の河道形状の変化とシロウオ産卵場への影響.....°伊豫岡宏樹(福岡大)  
10:50~11:15 汽水域の甲殻類に与えるネオニコチノイド系殺虫剤の影響.....°山室真澄(東京大)  
(座長:山室真澄(東京大))  
11:15~12:00 総合討論

9月9日(水) 午後

C会場 13:30~16:45

環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術

(環境省:本部企画)

(座長:今井 剛(山口大))

- 13:30~14:05 良好な水環境の保全・創出に向けた環境技術実証事業の取組と今後の展開.....°柳川立樹(環境省)  
14:10~14:45 土壌を用いた汚水処理システム(ソフィーラ).....°羽田野一幸, °西山 朗, 青木善孝(アルコ)  
14:50~15:25 特殊酵素と菌生息石による底質と水質の浄化技術について  
.....°上田知毅, 上田昌央, 上田善洋(上田微生物)  
15:30~16:05 ベトナムにおける新浄化装置普及へのビジネスモデル評価  
.....°山上文直(正和電工), 大塚俊彦(埼玉県環境検査研究協会), 裊地伸治, 原穂乃佳(正和電工)  
16:10~16:45 沖縄飲食店における合併浄化槽運用の限界とETV技術(グリスエコ)の適応...°佐藤秀雄(大都技研)

D会場 13:30~17:00

「限界突破」する膜

(膜を利用した水処理技術研究委員会)

(座長:木村克輝(北海道大))

- 13:30~13:35 開会のあいさつ  
13:35~14:00 膜ろ過浄水施設におけるウイルスの処理性評価:陽電荷膜と限外ろ過膜を組み合わせたウイルス濃縮法の適用.....°白崎伸隆, 松村拓哉, 白川大樹, 高力聡史, 松下 拓, 松井佳彦(北海道大)  
14:00~14:25 逆浸透膜による有害物の完全阻止への挑戦.....°藤岡貴浩(長崎大)  
14:25~14:50 両イオン性高分子を用いた表面改質による逆浸透膜のバイオフィウリング抑制  
.....°佐伯大輔(信州大), 松山秀人(神戸大・先端膜工研セ)  
14:50~15:15 ミクロ~メソスケールで捉えるファウリング.....°赤松憲樹(工学院大)  
(座長:山村 寛(中央大))  
15:20~15:25 趣旨説明.....°山村 寛(中央大)  
15:25~15:55 「ポストコロナ」を見据えた「膜」利用.....°山本和夫(造水促進セ/中央大)  
15:55~16:25 膜処理の社会実装を促進するためになすべき事.....°渡辺義公(中央大)

- 16：25～16：55 座談会「膜が夢見る未来」  
 16：55～17：00 閉会のあいさつ……………山村 寛（中央大）

**E会場 13：30～17：00**

**九州沖縄の水環境**

（熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会）

（座長：鈴木祥広（宮崎大））

- 13：30～13：35 趣旨説明  
 13：35～13：55 清流大淀川を次世代の子供たちへつなぐ、産官学民の協働の取り組み  
 ……………上水樽昌幸（国交省・宮崎河川国道事務所）  
 13：55～14：15 宮崎県耳川の総合土砂管理の取り組み……………小倉弘康（宮崎県・河川課）  
 14：15～14：35 魚類の多様性に基づく宮崎県沿岸の生態学的評価……………村瀬敦宣（宮崎大）  
 14：35～14：55 宮崎の河川におけるダムによる生態影響評価研究……………糠澤 桂（宮崎大）  
 14：55～15：15 硫黄山噴火による強酸性白濁水の対策……………伊藤健一（宮崎大・国際連携セ）  
 （座長：安井英斉（北九州市大））  
 15：35～15：55 沖縄地方ダム貯水池の水環境特性と今後の貯留水品質管理  
 ……………古里栄一（鹿児島大・南九州・南西諸島域共創機構），鮎川和泰（環境システム），  
 平良和彦（沖縄県・南部農林土木事務所），上原幸彦（沖縄県・南部土木事務所）  
 15：55～16：15 沖縄久米島における貯水池循環混合の考察……………鮎川和泰，本橋佑季（環境システム），  
 古里栄一（鹿児島大・南九州・南西諸島域共創機構），清家 泰（鳥根大・エスチュアリー研セ）  
 16：15～16：35 地域の暮らしとサンゴ礁生態系つながり構築に向けた取り組み……………中野拓治（琉球大）  
 16：35～16：55 亜熱帯島嶼域における集落排水処理水の農業利用の可能性と発展性……………治多伸介（愛媛大院）  
 （座長：安井英斉（北九州市大））  
 16：55～17：00 まとめ挨拶

**F会場 13：30～17：00**

地域からの発信～水環境研究の成果を行政に活かすには？～（地域水環境行政研究委員会／共催：全国環境研協議会）

（座長：見島伊織（埼玉県・環科国セ））

- 13：30～13：35 趣旨説明……………西嶋 渉（広島大・環安セ）  
 13：35～13：55 招待講演 水中の有機化学物質の迅速・簡易な分析前処理技術～迅速前処理カートリッジ～  
 ……………木村淳子，榎本佳泰，大原俊彦（広島県・総研保環セ）  
 13：55～14：15 マイクロプラスチックに吸着した化学物質の動態  
 ……………野呂和嗣，奥村智憲，西村理恵，近藤 健，矢吹芳教（大阪府・環農水総研）  
 14：15～14：35 河川・下水処理場の人工甘味料の実態および下水マーカーとしての評価  
 ……………柴森咲紀（埼玉大院・理工），竹峰秀祐，見島伊織（埼玉県・環科国セ），三小田憲史（富山県大）  
 14：35～14：55 水質シミュレーションを用いた酒田港 COD の将来予測と行政施策の効果検証  
 ……………小林幹彦（山形県・環科研セ）  
 （座長：石井裕一（東京都・環科研））  
 15：05～15：25 招待講演 分解菌を用いた1,4-ジオキサン廃水処理方法の実用性評価  
 ……………井坂和一（東洋大），見島伊織（埼玉県・環科国セ），池 道彦（大阪大）  
 15：25～15：45 浸出水中の1,4-ジオキサンの微生物処理の長期変動  
 ……………矢吹芳教，吉田 弦（大阪府・環農水総研），井上大介（大阪大）  
 15：45～16：05 北浦における貧酸素水塊の形成と分布的な特徴  
 ……………北村立実，大内孝雄，湯澤美由紀（茨城県・霞ヶ浦環科セ），  
 三野剛司，佐藤礼二（国交省・霞ヶ浦河川事務所），増永英二，浅岡大輝（茨城大），  
 鮎川和泰，清家 泰（鳥根大），福島武彦（茨城県・霞ヶ浦環科セ）  
 16：05～16：25 湖山池の流動に関する研究  
 ……………安田 優，山下 健，盛山哲郎，奥田英二，成岡朋弘（鳥取県・衛環研），  
 岡本将揮，森 明寛（鳥取県・水環境保全課）  
 16：25～17：00 総合討論

**9月10日（木）午前**

**G会場 9：00～12：30**

地域持続に貢献するバイオプロセスとその展開

（嫌気性微生物処理研究委員会／農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会）

（座長：赤尾聡史（同志社大））

- 09：00～09：10 趣旨説明……………藤原 拓（高知大）  
 09：10～09：45 海藻多糖ウルバンの低分子化に有効な固体酸触媒の開発……………恩田歩武（高知大）  
 09：50～10：30 下水汚泥利用の新展開～きのこ及び永年作物栽培へ……………山内正仁（鹿児島高専）

(座長：日高 平 (京都大))

- 10:35~11:10 地域資源を活用した持続可能な焼酎造り.....°林 純平 (霧島酒造)  
11:15~11:50 地域内資源・エネルギー循環拠点としての下水処理場 (メタン発酵を核として)  
.....°戸茱丈仁 (鳥取環境大)  
11:55~12:20 総合討議  
12:20~12:30 総括.....°李 玉友 (東北大)

H会場 9:00~12:30

エアロゾル中の病原微生物に関する研究動向

(水中の健康関連微生物研究委員会)

(座長：原本英司 (山梨大院・総研部))

- 09:00~09:05 趣旨説明.....°原本英司 (山梨大院・総研部)  
09:05~09:22 小型エアサンプラーを用いた室内空気中の腸管系ウイルス定量方法と下水処理場への適用  
.....°松原康一 (日水コン), 片山浩之 (東京大院・工)  
09:22~09:39 Evaluation of microbial health risks caused by the usage of river water for a decentralized drinking  
water system .....°Arief Nurul UMAM (Tohoku Univ.),  
Mohan AMARASIRI (Kitasato Univ.), Syun-suke KADOYA, Daisuke SANO (Tohoku Univ.)  
09:39~09:56 下水処理場における簡易処理発生時の病原ウイルス濃度変動の解明.....°于 再治, 西田光希,  
張 浩然, 杉江由規, 張 浩, 朴 耿洙, 趙 博, 井原 賢, 田中宏明 (京都大院・工)  
09:56~10:13 微小フロックに着目した凝集膜ろ過によるウイルス除去率の評価  
.....°安井 碧, 片山浩之 (東京大院・工)  
10:13~10:30 都市下水と病院排水のモニタリングによる薬剤耐性菌のまん延調査  
.....°渡部 徹, 西山正晃 (山形大・農), 渋谷理央 (山形大院・農),  
森 祐哉 (山形大・農), 金森 肇, 馬場啓聡 (東北大院・医)

(座長：原本英司 (山梨大院・総研部))

- 10:45~11:02 新型コロナウイルスの下水疫学研究：最新知見と展望  
.....°北島正章 (北海道大院・工), 原本英司 (山梨大院・総研部)  
11:02~11:19 石川、富山県内の下水処理場流入下水を対象とした新型コロナウイルスモニタリング  
.....°端 昭彦 (富山県大・工), 原 宏江 (金沢大・理工),  
明地柚乃, 今井翔太 (富山県大・工), 本多 了 (金沢大・理工)  
11:19~11:36 COVID-19 感染流行期における下水試料からの SARS-CoV-2 RNA の検出  
.....°荒川千智 (北海道大院・工), 原本英司 (山梨大院・総研部), 北島正章 (北海道大院・工)  
11:36~11:53 下水中 SARS-CoV-2 RNA 濃度に基づく COVID-19 感染者数推定モデルの構築と適用  
.....°三浦郁修 (愛媛大・CMES), 荒川千智 (北海道大院・工),  
原本英司 (山梨大院・総研部), 北島正章 (北海道大院・工)  
11:53~12:10 φ6 をサロゲートとした下水中エンベロープウイルスの濃縮手法の比較  
.....°鳥居将太郎, 片山浩之 (東京大院・工)  
12:10~12:30 総合討論.....°佐野大輔 (東北大院・環境科学)

I会場 9:00~12:30

湿地・沿岸域研究の最前線と亜熱帯・熱帯の水環境

(湿地・沿岸域研究委員会)

(座長：山本浩一 (山口大))

- 09:00~09:02 趣旨説明.....°中井智司 (広島大)  
09:02~09:40 宮崎海岸における海岸管理.....°村上啓介 (宮崎大)  
(座長：中井智司 (広島大))  
09:40~09:54 牛久沼における植物プランクトン群集  
.....°長濱祐美, 木村夏紀, 古川真莉子, 程木義邦, 湯澤美由紀, 福島武彦 (茨城県・霞ヶ浦環科セ)  
09:54~10:08 琵琶湖抽水植物群落における植生図作成への UAV (unmanned aerial vehicle) の適用  
.....°渡部優希, 田中周平, ZHANG Hongwei, 大島靖弘, 水谷沙織, 藤井滋穂 (京都大),  
西川博章 (ラゴ)  
10:08~10:22 河道内植生管理のための空撮データ解析と実務運用のための検討.....°山西博幸 (佐賀大・理工)  
10:22~10:36 琵琶湖沿岸の養浜事業と二枚貝の生育環境について  
.....°古田世子, 池田将平, 萩原裕規, 大柳まどか, 井上栄壮 (滋賀県・琵琶湖環科研セ)  
10:36~10:50 農業濁水・農業による琵琶湖沿岸の魚貝類への影響評価  
.....°大久保卓也, 閻 雨佳, 王 俊函, 青木優太, 小林 佑, 須戸 幹 (滋賀県大)  
10:50~11:04 印旛沼流域の水質浄化と湿地帯の沖積層との関係  
.....°瀧 和夫, 岩井久美子, 楠田 隆, 田村嘉之, 中村正直 (水環境研究所), 近藤昭彦 (千葉大・理)

- 11:04~11:18 脂肪酸を指標とした湖沼メタン栄養食物網の緯度間比較  
 ..... °藤林 恵 (九州大), 伊藤雅之 (兵庫大), 小林由紀 (山口大),  
 池谷 透 (総合地球環境学研究所), Mendoza Milette, Jaydan Aguilar,  
 Karol Padilla, Rey Donne S. Papa (Univ. Santo Tomas, Philippines),  
 Chih-hao Hsieh (Taiwan Univ., Taiwan), Fuh-Kwo Shiah (Academia Sinica, Taiwan),  
 奥田 昇 (京大)

(座長: 藤林 恵 (九州大))

- 11:20~11:34 海産珪藻の種内競争に及ぼす栄養塩濃度の影響  
 ..... °丸尾知佳子, 佐野大輔, 坂巻隆史, 西村 修 (東北大)
- 11:34~11:48 谷津干潟に生息する二枚貝 (外来種・在来種) の貧酸素耐性および水質浄化ポテンシャルの比較解析  
 ..... °村上和仁, 生方真奈, 高木結花, 鈴木優一, 登坂拓哉 (千葉工業大)
- 11:48~12:02 地形変化が見られた人工干潟の底生生物の増加に及ぼす流動環境の影響  
 ..... °高橋直也 (石巻専修大・理工), 玉置 仁 (石巻専修大),  
 小瀬知洋 (新潟大・応生), 坂巻隆史 (東北大院・工)
- 12:02~12:16 Mechanisms of organic carbon increase in sediment due to a change of redox condition  
 ..... Mukseet Mahmood, Shunsuke Taki, °Satoshi Nakai, Talkehiko Gotoh, Wataru Nishijima,  
 Akira Umehara, Tomo Aoyagi, Tomoyuki Hori (Hiroshima Univ.)
- 12:16~12:30 熱帯泥炭地沿岸における泥炭堆積物の輸送に関する研究  
 ..... °山本浩一, 香川拓輝 (山口大), 村上啓介 (宮崎大), 赤松良久, 白水 元 (山口大),  
 Noerdin Basir (Politeknik Bengkalis, Indonesia), Sigit Sutikno (Univ. of Riau, Indonesia)

J会場 9:00~11:25

地表水対象の浄水処理への紫外線適用

(紫外線を利用した水処理技術研究委員会)

(座長: 大瀧雅寛 (お茶の水大))

- 09:00~09:05 主旨説明
- 09:05~09:35 紫外線水処理技術適用拡大 (UV-ACE) プロジェクト  
 ..... °栗原潮子, 市川 学 (水道技術研セ), 杉本隆仁 (メタウォーター), 神子直之 (立命館大)
- 09:35~10:15 紫外線照射装置 JWRC 技術審査基準の改訂について ..... °山越裕司 (日本紫外線水処理技術協会)
- 10:15~10:35 一括質問, パネルディスカッション  
 ..... °栗原潮子 (水道技術研セ), 山越裕司 (日本紫外線水処理技術協会)

(座長: 神子直之 (立命館大))

- 10:45~11:05 山間地における UV-LED 水消毒装置の実証 ..... °小熊久美子 (東京大), 渡邊真也 (日機装技研)
- 11:05~11:25 枯草菌芽胞を用いた生物線量計に関する検討 ..... °大瀧雅寛, 大野聖奈 (お茶の水大)

K会場 9:00~12:30

産業排水処理における新たな課題と技術的進展

(産業排水の処理・回収技術研究委員会)

(座長: 島村和彰 (水ing))

- 09:00~09:05 趣旨説明
- 09:05~09:50 〈招待講演〉産業排水の処理・回収技術を高効率化する簡易・迅速・低コスト水質センシング技術  
 ..... °佐藤 久 (北海道大)
- 09:50~10:35 〈招待講演〉水処理技術と ZLD 事情 ..... °井上智裕 (サクラ)
- (座長: 行谷宗大 (住友重機械エンバイロメント))
- 10:45~11:00 代替指標を用いた排水中の有機性色度構成成分の測定  
 ..... °麻生智香, 高橋惇太, 二見賢一, 森田智之 (水ing)
- 11:00~11:15 活性汚泥におけるパチルス属菌芽胞の計測法  
 ..... °橋本勇太, 水内理映子, 野田周平, 胡 錦陽, 鳥居杜朗, 早見徳介 (東芝インフラシステムズ)
- 11:15~11:30 物理化学処理による飼育水循環システムの開発  
 ..... °高田明広, 福水圭一郎, 大江太郎 (オルガノ), 三宅裕志 (北里大学)

(座長: 山本太一 (オルガノ))

- 11:40~11:55 ウィスキー廃水を用いた高温固定床式メタン発酵の処理特性  
 ..... °速水公佑, 柴田晴佳, 中小路堇, 多田羅昌浩, 小川浩司 (鹿島建設),  
 岡本裕行 (アサヒグループエンジニアリング), 西原岳伸 (ニッカウキスキー)
- 11:55~12:10 グラニュール活性汚泥法の比国における実証試験結果報告  
 ..... °宮田 純, 富田洋平, °江川拓也 (JFEエンジニアリング)
- 12:10~12:25 空気電池用非 Pt カソードを用いた微生物燃料電池の検討 ..... °小松和也, 深瀬哲朗 (栗田工業)

L会場 9:00~12:30

環境エンジニアリングにおける電気化学的技術

(電気化学的技術研究委員会)

(座長: 渡邊智秀 (群馬大院))

- 09:00~09:05 挨拶.....渡邊智秀 (群馬大院)
- 09:05~09:25 酸性条件下でのオゾン電解併用処理の性能低下要因に関する考察  
.....岸本直之 (龍谷大・先端理工), 新井春希 (龍谷大院)
- 09:25~09:45 ペルフルオロオクタン酸の多孔性錯体結晶による吸着とその後の電解酸化による新しい吸着分解技術  
.....保坂 将, 井関正博, 今野大輝 (東邦大院)
- 09:45~10:05 電気化学凝集を活用した酪農廃水からの抗生物質の磁気分離  
.....井原一高, 岩崎光一郎, 吉田 弦 (神戸大・農学研), 梅津一孝 (帯広畜産大・畜産)
- (座長: 榊原 豊 (早稲田大院))
- 10:15~10:35 微生物燃料電池型廃水処理の研究動向に基づく課題と対策.....吉田奈央子 (名古屋工業大・環境都市)
- 10:35~10:55 微生物燃料電池のカソード作成条件の検討による性能向上の試み  
.....山田佳奈 (岐阜大院), 廣岡佳弥子, 市橋 修 (岐阜大・流域研セ)
- 10:55~11:15 底質環境改善技術としての堆積物微生物燃料電池の特徴  
.....窪田恵一, 渡邊智秀 (群馬大院), 竹村泰幸, 珠坪一晃 (国環研)
- (座長: 岸本直之 (龍谷大))
- 11:25~11:45 パルス放電処理による難分解性有機物質の分解・除去特性と処理エネルギー効率に関する研究  
.....西村文武 (京都大院), 門脇一則, 三馬大幸 (愛媛大院), 松村千里 (ひょうご環創協)
- 11:45~12:05 SPE 膜電極を用いた水素利用地下水脱窒処理の長期フィールド試験  
.....榊原 豊 (早稲田大院), 稲垣嘉彦 (アディスアババ大, エチオピア),  
山田大貴 (早稲田大), 小森正人 (ヤマト・環技研)
- 12:05~12:25 多孔質電極装着セルを用いた酸性河川水の中和処理とその再生  
.....小森正人 (ヤマト・環技研), 田中恒夫 (前橋工科大)
- 12:25~12:30 まとめ.....岸本直之 (龍谷大・理工)

N会場 9:00~12:30

気候変動による水道水源への影響と対応方策

(将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会)

(座長: 橋本崇史 (東京大))

- 09:00~09:10 セッション紹介
- 09:10~09:30 JICA の気候変動対策と水道分野の協力 .....久保田広志 (JICA)
- 09:30~09:50 開発途上国の大規模都市圏における大規模渇水の事例と水ガバナンスの課題  
.....杉山琴美, 風間しのぶ, 小熊久美子, 滝沢 智 (東京大)
- 09:50~10:10 カンボジアの民営水道事業の実施事例.....田路明宏, 大野 進 (神鋼環境ソリューション)
- 10:10~10:30 Management Practice of Private Water Service Operators in Cambodia  
.....Thor Kounthy, 風間しのぶ, 滝沢 智 (東京大)
- (座長: 黒田啓介 (富山県立大))
- 10:40~10:50 セッション紹介
- 10:50~11:10 水道水源水質管理における JAXA 提供の地球観測衛星データの利用可能性  
.....保坂幸尚 (水道マッピングシステム)
- 11:10~11:30 ヤンゴンの地下水汚染の現状と水利用の課題  
.....橋本隆生, 風間しのぶ, 小熊久美子, 滝沢 智 (東京大)
- 11:30~11:50 ネパール・カトマンズ盆地における地下水の窒素汚染~同位体アプローチによる起源推定とその難しさ~  
.....中村高志, 西田 継, 横澤 賢 (山梨大)
- 11:50~12:10 Groundwater Treatment by Community-Based Reverse Osmosis Water Treatment Plants in the  
Endemic Areas of Chronic Kidney Disease of Unknown Etiology (CKDu) in Sri Lanka  
.....Sachithra Imbulana, 小熊久美子, 滝沢 智 (東京大)
- (座長: 滝沢 智 (東京大))
- 12:15~12:30 総括・討論

P会場 9:00~12:30

マイクロプラスチック研究, 分析手法の最前線

(マイクロプラスチック研究委員会/身近な生活環境研究委員会, 共催: 日本環境化学会)

(座長: 高田秀重 (東京農工大・農))

- 09:05~09:25 陸域~河川~海域におけるプラスチックごみの動態.....二瓶泰雄 (東京理科大・理工)
- 09:25~09:45 引地川流域における用途地域間のマイクロプラスチック堆積状況の比較  
.....三島聡子, 小澤憲司, 中山駿一, 菊池宏海, 難波あゆみ (神奈川県・環科セ),  
片岡智哉, 二瓶泰雄 (東京理科大・理工)

- 09:45~10:05 川の国埼玉県の海洋プラスチックごみ削減に向けた取組み－地環研の立場からの貢献－  
 ……°田中仁志(埼玉県・環科国セ), 鈴木健太, 肥後卓豪, 田村和大(埼玉県・環境部),  
 石井裕一(東京都・環科研), 田中周平(京都大院・地環)
- 10:05~10:25 生活者のプラスチック行動を考える……………°風間真理(東京湾の環境をよくするために行動する会),  
 小倉久子((元)千葉県・環研セ), 小寺正明(環境・国際研究会), 針谷さゆり((元)埼玉県・環境部)  
 (座長:西川可穂子(中央大・商))
- 10:30~10:50 国内河川におけるマイクロプラスチックの現地調査に基づく輸送特性の評価  
 ……°片岡智哉, 二瓶泰雄(東京理科大・理工)
- 10:50~11:10 簡便な前処理と顕微赤外分光法の組合せによる水道水中のマイクロプラスチック分析  
 ……°向高 新, 片岡智哉, 二瓶泰雄(東京理科大・理工)
- 11:10~11:30 マイクロプラスチック分析調査技術の進展に伴う研究分野の拡大～mmから1μmまで。ローカルから  
 グローバルまで。小学生から高齢者まで。……………°亀田 豊(千葉工業大・創造工)
- 11:30~11:50 河川表層水中の微小マイクロプラスチック分析への LDIR ケミカルイメージングシステムの適用  
 ……°田中周平, 近藤泰仁(京都大院・地環), 相場史寛(京都大院・工), 雪岡 聖(京都大院・地環),  
 Bouche Léopold(スイス連邦工科大・環境理工), 金岡 智(Agilent),  
 藤井滋穂(京都大院・地環), 高田秀重(東京農工大・農)
- 11:50~12:10 大気中マイクロプラスチック研究(Airborne microplastics: AMPs)の現状:標準分析法の確立と様々  
 な大気環境への適用……………°大河内博, 吉田昇永(早稲田大・創造理工),  
 新居田恭弘(パーキンエルマージャパン), 板谷庸平, 緒方 裕子(柴田科学),  
 勝見尚也(石川県立大・農), 高田秀重(東京農工大・農)
- 12:10~12:30 都市内湾における微細プラスチックの動態:雨天時の輸送, 堆積, 生物への取込  
 ……°高田秀重, Yeo Bee Geok, 紅露美咲, 杉浦雅也, 高田尚彦, 水川薫子(東京農工大・農)

9月10日(木) 午後

Q会場 13:30~17:00

MS 技術を駆使した環境微量化学物質の把握

(MS 技術研究委員会)

(座長:西野貴裕(東京都・環科研))

- 13:30~13:50 各種 MS スクリーニングによる河川水中化学物質の実態把握と発生源特定への試み  
 ……°宮脇 崇, 古閑豊和, 平川周作, 石橋融子(福岡県・保環研), 門上希和夫(北九州市立大学)
- 13:50~14:10 水中有害化学物質スクリーニング手法の高度化に向けた精製方法の開発  
 ……°八十島誠, 峯 孝樹, 嶽盛公昭, 友野卓哉, 藤原英里奈(島津テクノ),  
 井上知也, 鍋谷佳希(みずほ情報研)
- 14:10~14:30 LC-QToF-MS の data independent MS/MS 情報を活用した下水試料からの共通検出化合物の探索  
 ……°鈴木裕誠(土木研), 阿部翔太(エンテックス), 高沢麻里, 北村友一, 山下洋正(土木研)  
 (座長:宮脇 崇(福岡県・保環研))
- 14:30~14:50 国内水環境における生活由来化学物質の実態解明と生態リスク評価  
 ……°西野貴裕, 加藤みか(東京都・環科研), 東條俊樹(大阪市・環科研セ),  
 松村千里(兵庫県・環研セ), 長谷川瞳(名古屋・環科調セ), 澤井 淳(いであ・環創研)
- 14:50~15:10 河川水を対象とした COVID-19 治療薬の分析法開発と河川実態  
 ……°八十島誠, 峯 孝樹, °藤原英里奈(島津テクノ), 吉田 学(大東環境科学),  
 友野卓哉, 嶽盛公昭(島津テクノ)  
 (座長:松村千里(兵庫県・環研セ))
- 15:30~15:40 水環境中抗うつ薬の一斉分析法の開発と適用  
 ……°大方正倫, 浅川大地, 東條俊樹(大阪市・環科研セ), 西野貴裕(東京都・環科研)
- 15:40~15:50 国内水環境における製品由来化学物質の実態調査……………°加藤みか, 西野貴裕(東京都・環科研),  
 長谷川瞳(名古屋・環科調セ), 東條俊樹(大阪市・環科研セ),  
 松村千里, 羽賀雄紀(兵庫県・環研セ)
- 15:50~16:00 様々な試料中の PCB 異性体分布の特徴……………°中野 武(大阪大・環安研管セ)
- 16:00~16:10 有機フッ素化合物の環境モニタリングについて  
 ……°松村千里, 梶 拓也, 羽賀雄紀, 中越章博, 藤森一男(兵庫県・環研セ)
- 16:10~16:50 総合討論
- 16:50~17:00 総括……………°中野 武(大阪大・環安研管セ)

**R会場 13:30~17:00**

**バイオとエコを活用した環境再生保全技法の最前線と戦略的展開**

(生物膜法研究委員会)

(座長: 稲森悠平 (国際科学振興財団))

- 13:30~13:55 バイオエコシステムによる環境再生保全技法の戦略的国際展開  
.....° 稲森悠平, 稲森隆平 (国科振興財団・NPO バイオ技研), 類家 翔 (国科振興財団)
- 13:55~14:20 人工湿地技術を導入したグリーンインフラの最前線と戦略的展開.....° 中野和典 (日本大)
- 14:20~14:45 バイオマスのカスケード利用による地産地消炭素貯留水処理技法の最前線と戦略的展開  
.....° 袋 昭太, 横山茂輝, 松澤大起, 倉澤 響 (フジタ)
- 14:45~15:10 環境リスクマイクロリズム評価技法の最前線と戦略的展開  
.....° 村上和仁, 土屋友美, 清水達也 (千葉工業大),  
類家 翔, 稲森隆平, 稲森悠平 (国科振興財団・NPO バイオ技研)
- 15:10~15:35 アナモックス細菌を利用した省エネ型排水処理システム安定運転の最前線と戦略的展開  
.....° 井坂和一 (東洋大)
- 15:35~16:00 有用微生物機能強化嫌気性処理技法の最前線と戦略的展開.....° 李 玉友 (東北大)
- 16:00~16:25 高度膜分離活性汚泥方式水処理技法の最前線と戦略的展開  
.....° 打林真梨絵, 鮫島正一, 新井喜明 (明電舎)
- 16:25~16:50 地域エネルギー再生水上太陽光発電技法の最前線と戦略的展開.....° 森 一 (シエルテールジャパン)
- 16:50~17:00 総括および展望.....° 稲森悠平 (国科振興財団・NPO バイオ技研)

**S会場 13:30~17:00**

**身近な生活環境の変化とその課題**

(身近な生活環境研究委員会)

(座長: 柿本貴志 (埼玉県・環科国七))

- 13:30~13:40 趣旨説明.....° 柿本貴志 (埼玉県・環科国七)
- 13:40~14:00 季節別運転を行う下水処理場の放流水が及ぼす放流先水域での難分解性有機物量に関する調査  
.....° 柏原 学, 秦弘一郎, 松木昌也, 古賀敬興, 平川周作, 宮脇 崇, 志水信弘,  
松本源生, 石橋融子 (福岡県・保環研), 山西博幸 (佐賀大)
- 14:00~14:20 身近な生活環境における解決すべき問題の変化.....° 亀海泰子 (建設技研インターナショナル)
- 14:20~14:40 傾斜土槽法による陸圏の自浄作用・生態系の利用効果について.....° 生地正人 (四電技術コン)
- (座長: 小川 浩 ((元) 常葉大))
- 14:50~15:10 日本の河川・港湾・湖 100 地点におけるマイクロプラスチックの浮遊状況調査  
.....° 小寫不二夫, 三輪芳和, 伊藤伸裕, 井上慎也 (ピリカ)
- 15:10~15:30 柔軟剤マイクロカプセルの関与が疑われる環境水から検出された人工香料成分  
.....° 山室真澄, 胡 磊 (東京大)
- 15:30~15:50 呼吸器に忍び寄る透明なマイクロカプセル.....° 富田 学 (化学物質による大気汚染から健康を守る会)
- (座長: 柿本貴志 (埼玉県・環科国七))
- 16:00~17:00 総合討論

**T会場 13:30~17:00**

**バイオアッセイの未来**

(バイオアッセイによる安全性評価研究委員会)

(座長: 新野竜大 (LSI メディエンス))

- 13:30~13:35 開会あいさつ・セッションの開催趣旨.....° 山本裕史 (国環研)
- 13:35~13:55 バイオアッセイの未来~底質汚染・メタボロミクスの観点から.....° 宇野誠一 (鹿児島大・水産)
- 13:55~14:15 バイオアッセイの未来~水生生物を対象としたトランスクリプトーム解析の観点から  
.....° 内田雅也 (有明高専), 石橋弘志 (愛媛大院・農), 富永伸明 (有明高専), 平野将司 (熊本高専),  
草野輝彦 (瑞輝科学生物), 有菌幸司 (熊本大院・薬)
- 14:15~14:35 バイオアッセイの未来~水道水源におけるウイルス汚染の観点から.....° 三浦尚之 (国保医科院)
- 14:35~14:55 バイオアッセイの未来~ in vitro アッセイを用いた神経系医薬品の水生生物影響評価の取り組みとその  
可能性の観点から.....° 井原 賢 (京都大院・工)
- 14:55~15:15 バイオアッセイの未来~水道水消毒副生成物の DNA 損傷生成・修復評価の観点から  
.....° 小牧裕佳子, 伊吹裕子 (静岡県大・食品栄養科学)
- (座長: 山本裕史 (国環研))
- 15:25~15:45 バイオアッセイの未来~水生昆虫を対象にした環境 DNA 解析の観点から  
.....° 八重樫咲子 (山梨大院・総合研究)
- 15:45~16:05 バイオアッセイの未来~地方環境研におけるバイオアッセイ利用の観点から  
.....° 萩原裕規, 池田将平, 大柳まどか, 古田世子, 居川俊弘 (滋賀県・琵琶湖環科研セ)
- 16:05~16:25 バイオアッセイの未来~光技術の応用開発の観点から.....° 勝又政和 (浜松ホトニクス)
- 16:25~16:40 バイオアッセイの未来~試験機関の観点から.....° 新野竜大 (LSI メディエンス)
- 16:40~16:55 バイオアッセイの未来~環境行政利用の観点から.....° 山本裕史 (国環研)

16:55~17:00 総括・閉会挨拶……………° 鑑迫典久 (愛媛大・農)

**U会場 13:30~17:00**

**土壤地下水汚染問題の解決に向けた研究動向と今後の展開**

(土壤地下水汚染研究委員会)

(座長: 保高徹生 (産総研))

13:30~13:40 ご挨拶・趣旨説明……………° 細見正明 (東京農工大)

13:40~13:58 カルシウム系吸着材の亜ヒ酸吸着能に及ぼすケイ酸の影響

……………° 杉田 創, 小熊輝美, 張 銘, 原 淳子, 川辺能成 (産総研)

13:58~14:16 重金属の粘土鉱物への吸着および溶出挙動

……………° 鈴木祐麻 (山口大・山口大 BEST), 中瀬貴将, 加古山怜, 新苗正和 (山口大)

14:16~14:32 クロロエタン類の分解経路と主要分解微生物について……………° 張 銘, 吉川美穂 (産総研)

14:32~14:50 クロロエチレン等の揮発性有機塩素化合物の土壤中での吸着・拡散挙動と環境管理

……………° 小林 剛, 末継 淳 (横浜国大)

14:50~15:08 土壌から揮発した揮発性有機化合物の地上への拡散についての検討……………° 中島 誠 (国際航業)

(座長: 小林 剛 (横浜国大))

15:20~15:38 VC 地下水汚染の不飽和層での土壌ガスの拡散シミュレーションによる土壌ガス調査による検出可能性評価……………° 保高徹生 (産総研), 小林 剛 (横浜国大)

15:38~15:56 揮発性有機化合物に対する原位置浄化技術の環境負荷

……………° 江種伸之, 田内裕人 (和歌山大), 丸山裕嗣 (タクマ), 平田健正 (放送大)

15:56~16:14 揮発性有機塩素化合物による汚染サイトにおける加温原位置浄化工法の適用

……………° 北村 岳, 山崎祐二, 稲葉 薫, 清水孝昭, 奥田信康 (竹中工務店), 田 小維, 鈴木市郎, 小林 剛 (横浜国大)

16:14~16:32 国頭マージ土壌の油分浄化研究の現状と展望

……………° 中野拓治, 中村真也 (琉球大), 高畑 陽 (大成建設), 松田幸弘 (国場組)

16:32~16:50 PFOS・PFOA の原位置浄化の可能性……………° 佐藤徹朗, 瀬野光太, 窪田成紀, 中島 誠 (国際航業)

16:50~17:00 総括・総合討論

**V会場 13:30~17:00**

**気候変動が流域の水・物質動態に与える影響とその対策**

(流域物質動態とノンポイントソース研究委員会)

(座長: 櫻井伸治 (大阪府立大))

13:30~13:40 趣旨説明……………° 井上隆信 (豊橋技科大院)

13:40~14:10 我が国の湖沼における気候変動による影響と適応策の検討に向けた水質の将来予測の検討状況

……………° 藤尾 隆 (環境省・水環境課),  
° 上原 浩, 佐竹康孝, 徐 冰潔 (パシフィックコンサルタンツ)

14:10~14:35 琵琶湖流域における近年の気候が流入負荷量に与える影響のモデル解析

……………° 佐藤祐一 (滋賀県・琵琶湖環科研セ),  
上原 浩, 徐 冰潔, 吉武央気 (パシフィックコンサルタンツ)

14:35~15:00 沿岸湖沼への海水流入の影響 - 鳥取県湖山池と東郷池を例に -……………° 増田貴則 (鳥取大)

(座長: 治多伸介 (愛媛大院))

15:15~15:40 流域における溶存有機物の多様性と将来変化について

……………° 藤井 学, 和田光央, Qing-Long Fu (東京工業大)

15:40~16:05 底質中有機汚染物質の生態リスクと対策の優先順位付け

……………° 渡部春奈, 松崎加奈恵, 山本裕史, 日置恭史郎, 遠藤智司 (国環研), 中島典之 (東京大)

16:05~16:30 豊平川の大腸菌数の網羅的分析……………° 佐藤 久, 岩崎 隼, 小野寺岳史郎 (北海道大院)

(座長: 尾崎則篤 (広島大))

16:30~17:00 総括・討論

## 若手研究紹介（オルガノ）セッション

9月9日（水）

OR会場 13：20～17：10

（司会：渡邊智秀（群馬大））

- 13：20～13：25 選考委員長開会挨拶…………… 鈴木祥広（宮崎大・工）
- 13：30～14：00 河川水中に存在する未規制汚染物質の動態と浄水処理における消長のノンターゲットスクリーニング分析による評価  
Dynamics of unregulated pollutants in rivers and their fate in drinking water treatment processes evaluated by non-target screening analysis …………… 石井淑大（東京大・工）
- 14：00～14：30 The performance of freshwater one-stage partial nitritation/anammox process with the increase of salinity up to 3.0%  
連続式一槽型 Anammox プロセスの窒素除去に及ぼす塩分の影響 …………… 郭 延（東北大・工）
- 14：30～15：00 水系感染症ウイルスの集団内遺伝的多様性がもたらす塩素感受性変化  
Intra-population diversity of rotavirus changes the chlorine sensitivity…………… 門屋俊祐（東北大・工）

（司会：井上大介（大阪大））

- 15：10～15：40 An exploration of the causative substance of fishy smell in raw water for taps by combining high resolution mass spectrometry and multivariate analysis  
多変量解析と高分解能質量分析計の組み合わせによる水道水生ぐさ臭原因物質の探索  
…………… 新福優太（鹿児島大・理工）
- 15：40～16：10 Upgrading food waste and sewage sludge co-digestion performance by a high-solid anaerobic membrane bioreactor (AnMBR)  
高固形嫌気性 MBR による生ごみと下水汚泥の共消化性能の向上…………… 程 輝（東北大・工）
- 16：10～16：40 ウイルス種内の消毒感受性分布幅が全体不活化率に及ぼす影響  
Impact of the heterogeneity in free chlorine, UV254, and ozone susceptibility among coxsackievirus B5 on the prediction of the overall inactivation efficiency…………… 鳥居将太郎（東京大・工）
- 16：40～17：10 疫学調査および微生物データに基づく潜在的な感染症拡大の統計的推定  
Statistical inference with epidemiological and microbial datasets for spread of infectious diseases via hidden cases…………… 三浦郁修（愛媛大・CMES / オランダ・RIVM）

## メタウォーター賞受賞者講演

9月9日（水）

ME会場 17：20～17：50

極端に大きな出水時の森林流域からの栄養塩流出：2011年7月の高知県西部四万十川源流域における事例  
…………… 篠宮佳樹（森林研究・整備機構 森林総合研究所），横山雄一（四電技術コンサルタント）